



富士ワイズメンズクラブは「**社会を明るくする運動富士市推進委員会**」の加盟団体です

国際会長主題	K・C・サミュエル	フェロウシップとインパクトで次の100年へ
アジア太平洋地域会長主題	シェン・チ・ミン	新しい時代とともに、エレガントに変化を
東日本区理事主題	佐藤 重良	未来に向けて今すぐ行動しよう
富士山部部長主題	前原 末子	広めよう 地域社会にワイズの理念と奉仕を！
富士クラブ会長主題	菊池 初彦	素晴らしいワイズ！！

会長	菊池初彦
副会長・会計	吉澤廣美
書記	増田 隆
副書記	仁藤斎浩
直前会長	小澤嘉道
担当主事	金井 淳

2022年  
9月 会報

9月強調テーマ  
EMC

### 巻 頭 言

高野 亨

第35期菊池会長の富士クラブキックオフ例会は無事に終了致しましたが、新型コロナウイルスの感染の第7波が激しくなってますので、楽しみにしてました8月の納涼例会は中止となりました。行政からの行動制限の無い中での自主判断ですがやむを得ないと思えます。一般的に今年の8月はお祭りや花火大会も3年ぶりに行動制限の無い夏を迎え、皆が縮小する形での開催としてます。その結果、感染者数は非常に多数での高止まりの状況です。このままでは9月例会の開催も危ぶまれます。これからはウイズコロナでと言いますが、まだまだ万が一に会合での出席者から感染者が出てしまった時の事を考えますと、開催に踏み切れない状況です。これを、消極的な判断というのか？適正な判断というのか？皆さんのご意見は半々ではないでしょうか。新型コロナウイルスとも3年目の対応になります。初めは感染したら死ぬ確率が高いので緊急事態宣言の発出で、人との接触を8割削減とか？でした。ワクチン接種のおかげで重症化のリスクが減り、行動制限も甘くなってますが、それぞれの人の意見と各個人個人の行動制限に委ねているのは、相変わらず政府が国民の判断に頼っている結果だと思えます。何か明確な基準を示してくれば、皆が判断に悩まずに済むのではないのでしょうか？しかし、明確な基準が見つからないのも、わかります。皆さんはどうお考えでしょうか？

### ★2022年9月例会★

と き 2022年9月14日(水) 18:30～  
と ころ ホテルグランド富士 (0545-61-0360)  
受 付 高野 亨君  
司 会 仲澤昭夫君

- |                         |        |
|-------------------------|--------|
| 1. 開会点鐘                 | 菊池初彦会長 |
| 1. 開会の挨拶                | 小澤嘉道君  |
| 1. ワイズソング・ワイズの信条        | 司会     |
| 1. 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和 |        |
| 1. 会長挨拶                 | 菊池初彦会長 |
| 1. ゲスト・ビジターの紹介          | 菊池初彦会長 |
| 1. 食前の感謝                | 鈴木靖巳君  |
| 1. マイタイム                |        |
| 1. 誕生日                  | 司会     |
| 1. 各委員会・書記・会計・事務局より     |        |
| 1. 出席率・スマイル・CS基金報告      |        |
| 1. 閉会の挨拶                | 岩辺富雄君  |
| 1. 閉会点鐘                 | 菊池初彦会長 |

例会終了後役員会を開催します

9月 Happy Birthday

該当者なし

7月例会報告

在籍会員	13名	例会出席者	8名	スマイル基金	24,000円	CS基金	円
休会会員	1名	出席率	66%	スマイル累計	24,000円	CS累計	円
担当主事	1名	ゲスト	1名	ビジター	15名	総出席者	24名

## マイタイム



### 岩辺 富雄

ことしの夏は、行動制限なしでのお盆休みに成りました。実家へ帰省する人、又子供達に自然体験して過ごす等またオンラインでの旅行・オンラインでのグルメの旅で本格的なレストランと連携をして、家庭に美味しい料理を届けるなど多種多様な、行動パターンがありました。朝霧高原の「ふもとっばら

「田貫湖のキャンプ場は父兄の方が自然体験を出来るように、子供達の感性を磨くために予約をして家族で出掛けました。キャンプは外ですので蜜も避けられて大変好都合です、又去年帰省出来なかった人も今年は実家で、お爺ちゃん・お祖母ちゃんと孫ともゆっくり出来たので大変良かったのではないかと思います。でコロナの始まる前は普通に出来たのに不自由な時代に成りました。私達の家族も掛川の方のキャンプ場にお邪魔して川遊び・釣り等・魚のつかみ取り・夜は花火などをして二日間ですが行って来ました。台風の後で、一日目は川の水量が多く川での遊びは出来ませんでした。バーベキューで子供の分担を決めて90%は座って居るだけで食事ができました。又子供達の出掛ける計画をさせて必要な資金を少なめに渡し、掛かったお金も全部計算させて最終的に責任を持たせ、決算報告までしてもらい今まで親におんぶに抱っこでしたが、違った意味で体験型キャンプで楽しかったです。



今年の夏の楽しい思い出 (富士山 YMCA にて)

### 富士山部部大会中止のお知らせ

10月29日(土)開催予定の富士山部部大会は新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていない状況を鑑みて、開催は見合わせることにしました。  
富士山部部長 前原末子

## 国際ビーチクリーンアップデー

9月22日はアメリカのサンフランシスコに本部のある海洋自然保護センターが1985年から実施している「国際ビーチクリーンアップデー」です。

毎年、9月22日に近い週末に、世界各地で一斉に海岸のゴミを拾い集め、数量や種類などを調べて、海洋ゴミの地球環境への影響を調査しています。2050年には、世界中の海でプラスチックゴミが魚より多くなると問題視され、世界全体で取り組む必要があると、同センターでは提言しています。仕事で離島に行った人が、地元の海岸を訪れると、そこには無数のゴミが漂着していました。そして、そのほとんどが家庭ゴミであることを初めて知ったそうです。自分の家庭の目を向けると、ゴミを正しく分別してないことや、簡単に物を捨てていたことを反省し、物の扱い方を考え直すきっかけとなったそうです。私たちは、普段のゴミの処理方法が適切かどうかを振り返り、計画的に買い物をするなど、できることから取り組んでいきたいものです。

富士クラブも今期2回の海岸清掃活動を計画しています。この機会に友人、知人、市内外各奉仕団体や富士山部の各クラブに呼び掛けて、多くの人たちに海岸清掃の意義と大切さをゴミ拾いすることで実感していただけたらと思います。多くの人に呼び掛けて海岸清掃活動を楽しく実行しましょう。

(増田)



## 第34回ユースボランティア・リーダーズフォーラム ワイズメン参加者募集

3年ぶりの集合形式で行いますが、嚴重な感染症対策を講じてまいります。YMCA およびボランティアリーダーの活動を理解する良い機会です。ぜひ山中湖へお集まりください。若者たちへの差し入れも大歓迎です。部分参加も大歓迎です。

日時 2022年9月30日(金) 17:30～

10月2日(日) 13:30

山中湖センター受付開始 16:45 予定

会場 東京 YMCA 山中湖センター

ワイズメン申し込み先と詳細は

第34回実行委員長 相磯優子(沼津クラブ)

携帯 090-3159-8101

締切 9月16日

『楽しく会員増強の「タスキ」をつなげよう』

東日本区会員増強事業主任  
佐藤 節子 (厚木)

佐藤重良理事の主題、「未来に向けて今すぐ行動しよう!」のもと、会員増強事業主任の主題として『楽しく会員増強の「タスキ」をつなげよう!』を掲げました。ワイズの将来への発展は、会員の増強あってこそ!と言っても過言ではないと思っています。会員増強事業に向けて、はじめの一步は「ワイズを知っていただく」ことではないでしょうか。そのために

- ①入会しそうな候補者リストをつくる。  
友人、知人、少しのお知り合いの方も含めて候補者リストをつくりましょう。
- ②クラブ例会にご招待する  
入会候補者を明記後、にこやかにお声がけ、呼びかけをします。コンタクトをとり、クラブ例会にお誘い、招待しましょう。
- ③前向きな反応をキャッチする。  
活気あるクラブ(面白そうだな)と興味、関心を感じとったら、その前向きな反応をしっかり観察しましょう。
- ④注目を集める  
反応の良かった方の様子の変化に合わせて、賞賛の言葉を送りましょう。そして一度だけでなく繰り返し、繰り返し、ご招待しましょう。
- ⑤入会のメリットを波及させます。  
入会したら、人脈が広がり、友情が築けます。地域社会に貢献できます。生きがいづくりになります。等々、良いことを波及させましょう。
- ⑥達成感 自分に巡ってくる。  
世のため、人のため、YMCA 発展のため、結果、巡り巡って自分の球になる、と確信しています。  
**結びに、目指せ! 目標は大きく、今すぐ行動しましょう。**

佐藤主任は10年ほど前に富士クラブの卓話者として出席してくださいました。その時の健康体操が今でも記憶に残っています。

富士クラブメンバーの皆様にお願  
い!

例会に友人、知人の同伴をぜひお願いします。会員増強がクラブ活性化につながります。

会員増強事業委員会  
委員長 鈴木靖巳



理事メッセージ



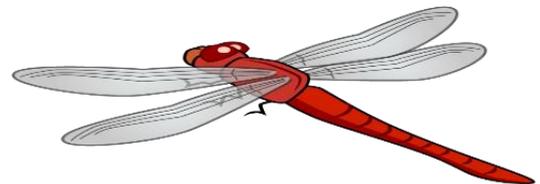
9月1日から12月9日まではワイズメンズクラブ国際協会全体として取り組む「会員増強 100日間キャンペーン」の期間です。東日本区クラブ会員は、2022年7月1日、770人でスタートしました。この数字は昨年から30名の減であり一昨年からは60名の減のスタートでした。会員増強事業主任・主査・事業委員会・Change!2022 推進委員会等、多くの皆様に非常に熱心に活動いただいておりますが、会員の毎年の減少に歯止めがかからない状況です。東日本区としましても佐藤節子会員増強事業主任を中心に取り組んでいただき、この危機的状況乗り越え、会員減少からV字回復に転ずるようお願いするところです。

今月の強調月間テーマ

9月の強調月間テーマはEMCです。Extension and Membership Conservation。Eはクラブ拡張(新クラブ設立)、MCは会員の維持(啓発、退会防止)と増強(新会員獲得)の意。  
【ハンドブック・ワイズ用語より】

WORLD CLEANUP DAY 2022

今年は9月17日(土)が地球を一斉にキレイにする日です。環境問題や地球規模のゴミ対策を呼び掛けるエストニアから始まった世界的なNGO団体「Let's Do It World」のネットワークで2018年から世界各国各地で同じ日(9月第3土曜日)に地球を一斉にキレイにするWORLD CLEANUP DAY活動が実施されています。この活動については、2020-2021年度にワイズメンズクラブ国際協会のWeek4Waste(ごみのための週)プロジェクト委員長から私たちもこの活動に参加するよう呼びかけがあり、今年で3年目になります。9月17日(土)に家の周り、街頭、公園、川、海辺、山などそれぞれの場所で、個人、ファミリー、グループ、クラブ、どのような集まりでも個人でもOKです。ゴミを取り除くだけでなく、環境美化活動に加わってみませんか?そして2023年4月の強調月間Week4Wasteプロジェクト(ごみのための週)にはワイズメンバーとしてどんな活動ができるか、今から準備してはいかがでしょうか。  
(東日本区CS・Yサ事業委員会委員 小原史奈子)



## 富士登山と 富士塚



富士市鈴川の富士市立元吉原  
中学校約 200m 西方に「浅間山」  
とか「天の香久山」と呼ばれる

丘がある。松林に囲まれた参道の正面、玉石を積み上げた小山が富士塚だ。富士塚とは富士山が山岳信仰の霊地であった昔、登拝できない人たちが身近にあって、い



つでも拝める人工のミニ富士山を築造したものである。この風習が盛んになったのは富士講が隆盛を極めた江戸中期以降という。安永 8 年 (1779) 年に熱心な富士行者藤四郎が江

戸高田 (現・東京新宿区) の水稲荷の境内に富士山から運んだ溶岩を積み上げて築いたのが最初。以来、江戸ばかりでなく相模 (神奈川) 武蔵 (埼玉) 千葉 (上総・下総) と広く流行した。高田富士は壊されてしまったが、東京都内には今も 43 の富士塚が現存する。鈴川の富士塚がいつごろ構築されたかは定かでない。しかし、江戸



の高田富士塚より古いことは前に建つ一基の灯籠が物語る。灯籠は高さ 2.5m で火袋は再製されているが、基礎の上の竿の前面に「浅間の宮」、側面が薄れて判読でき

ない文字の中に「口保二年丁酉五月口口」の年号があった。干支の年月から享保二 (1717) に該当する。また講印の◎が竿の上の台右四方に二つずつ、そして宝珠に刻まれている。だとすれば灯籠は江戸高田の築造より 62 年前に建立されたのであり、富士塚の築造はさらに時代をさかのぼるものと思われる富士登山が一般的になったのは室町時代からで、登山者は道者といふ身を清め精進潔斎することが必要だった。ここは吉原湊に



上陸した登山者が田子浦の浜辺で水垢離してから浜の玉石を積んで安全を祈った霊地であった。その意思が少しずつ積まれてなだらかな小山を築いたのである。姉川

一夢は『田子のふるみち』の中で「浜下りして石壺づづかきあげ、此山に登りて富士旅上にてかるき事を願う」と記している。今の富士塚は昭和 51 年 (1976) 年 1 月

に鈴川区が修復再建したもので頂に富士浅間を祀った小祠がある。(富士山が世界遺産に登録された時、この富士塚も構成資産に登録される要素はあったが、修復再建が行われたということで見送られたといわれているが定かではない。よって、富士市には世界遺産の構成資産は存在しません。)

(沢田正彦著 歴史を旅した石たち より抜粋)

## 富士山YMCAだより

担当主事 金井 淳 (富士山 YMCA)

去去年の夏休みはコロナウイルスによるまん延防止措置のために実施ができなかった富士山 YMCA の「サマーキャンプ」が、今年の 8 月は開催することができました。1920 年、大阪 YMCA が少年たちのために六甲山東麓で簡易天幕生活をしたのが YMCA キャンプの始まりであり、その後 100 年以上に渡って YMCA キャンプは続けられてきました。YMCA キャンプでは、(私自身がそうであるように) 子どもの頃は参加者として参加していたものが、その当時に見たリーダーの姿に憧れ、大学生になると自分がリーダーになり、キャンプの担い手として YMCA に戻ってくるということが多くあります。そのようにバトンが受け継がれながら、YMCA キャンプは 100 年以上続いてきました。そのような循環を生むには、やはりキャンプを途切れさせることなく続けていくことが求められています。子どもの頃に YMCA キャンプに参加をしていたという方と話をすると、(これも私自身がそうであるように) 「YMCA キャンプに人生を変えられた」ということを多く聞きます。時代の変化に合わせて、キャンプの形を変えながらも、今の子どもたちにも「人生を変えられた」経験を提供し、YMCA キャンプの担い手として、また社会の担い手として活躍することを祈っています。



感動のキャンプファイヤー

夏休みの  
思い出

友と語らい  
楽しい  
キャンプ

